

評価者	市民生活部長	齋藤 和徳
-----	--------	-------

◎ 評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

総合計画上の位置付け	分野	勤労者福祉	施策の方針	働く環境の充実
目標とすべきまちの姿	勤労者の福利厚生に対する満足度は向上し、健康的でこころ豊かな生活を送っています。市民の雇用や労働に対しての不満やストレスは本市の相談・カウンセリングにより対応されています。また、勤労者は余暇を活用して生涯学習などを生活に取り込んでいます。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度(回答者全体に占める割合)

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	令和元年度(2019年度)	41.4%	平成30年度(2018年度)	43.1%	平成29年度(2017年度)	43.1%
	平成28年度(2016年度)	42.3%	平成27年度(2015年度)	39.9%		

(2) 妥当性

令和元年度(2019年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	1.3%	0.2%	0.0%
ちょうどよい	1.4%	34.9%	0.5%
効果不十分	2.7%	3.8%	8.2%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成30年度(2018年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	1.0%	0.2%	0.2%
ちょうどよい	1.3%	33.7%	0.3%
効果不十分	3.3%	2.3%	9.4%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成29年度(2017年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	1.8%	0.2%	0.0%
ちょうどよい	1.1%	34.1%	0.9%
効果不十分	3.5%	3.9%	6.9%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成28年度(2016年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	1.4%	0.7%	0.2%
ちょうどよい	2.3%	32.1%	1.2%
効果不十分	3.9%	1.8%	9.1%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成27年度(2015年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	0.4%	0.1%	0.0%
ちょうどよい	1.4%	34.6%	0.9%
効果不十分	4.3%	3.7%	8.7%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答
令和元年度(2019年度)	11.8%	34.7%	6.4%	47.0%
平成30年度(2018年度)	14.2%	33.2%	4.3%	48.3%
平成29年度(2017年度)	12.7%	34.6%	4.6%	48.2%
平成28年度(2016年度)	14.0%	33.2%	6.0%	46.7%
平成27年度(2015年度)	16.0%	33.5%	4.7%	45.8%

2 内部評価

(1) 令和元年度(2019年度)の目標

- ①市内に居住、勤務している勤労者の生活安定と福利厚生増進のため、中央労働金庫に過不足なく資金を預託して、勤労者生活資金融資を実施する。(市民-19)
- ②中小企業従業員の福利厚生の充実を図るため、藤沢市、茅ヶ崎市とともに湘南勤労者福祉サービスセンターと協定を締結し、広域化を継続して安定した会員数を確保することにより、湘南勤労者福祉サービスセンターの安定した運営の持続を図る。(市民-20)

(2) 目標とすべきまちの姿と令和元年度(2019年度)の目標との関連性

- ①勤労者生活資金融資制度は、予想していなかった急な生活資金を必要とした中小企業勤労者の生活安定や必要とする耐久消費財の購入、教育費、住宅改築費に対応しており、勤労者の福利厚生の満足度を高め、健康的でこころ豊かな生活につながる。(市民-19)
- ②湘南勤労者福祉サービスセンターは、中小企業勤労者の福利厚生や健康診断、労働相談、生涯学習などに資するサービスを提供しており、当センターの安定した運営の継続は勤労者の健康的でこころ豊かな生活に寄与する。(市民-20)

(3) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

評価対象事業名		決算値(千円)		職員数(人)		法定受託 事務	今後の 方向性	
整理番号	事業名	令和元年度 (2019年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元 年度 (2019 年度)	平成 30年度 (2018年 度)		事業内容	予算規模
市民-19	勤労者福利厚生事業	30,853	35,822	0.4	0.4	無	b	B
市民-20	勤労者福祉支援事業	21,057	22,597	0.2	0.2	無	b	C

(4) 主な実施内容

【主な実施内容】

- ①勤労者生活資金融資制度は、勤労者の福利厚生の満足度を高め、健康的でこころ豊かな生活につながるような、耐久消費財の購入、教育費、住宅改築費など予想していなかった生活資金が必要となった際に勤労者の生活安定に対応するもので、令和元年度は4件の新規融資の利用があった。(市民-19)
- ②湘南勤労者福祉サービスセンターは、中小企業勤労者の福利厚生や健康診断、労働相談、生涯学習などに資するサービスを提供しており、当センターの安定した運営の継続は勤労者の健康的でこころ豊かな生活に寄与するもので、ここ数年、会員数については現状維持となっている。同センターの安定的な経営を図るために更なる会員増に努めた。(市民-20)

【実施できなかった事業とその理由等】

(5) 令和元年度(2019年度)の取組の評価

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	■ 適切 □ 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	■ 適切 □ 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	■ 適切 □ 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	■ 適切 □ 要改善

<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>

- ・退職金制度を独自に持たない中小企業の勤労者の福利厚生を充実させるための国の退職金共済制度の新規加入事業者への掛金の補助をし、制度の利用促進につなぐことができた。(市民-19)
- ・勤労者への生活資金の融資については、増改築費や冠婚葬祭、育児・介護休業にも対応しているもので、4件の貸付を行い、勤労者の生活安定と向上につなぐことができた。(市民-19)
- ・藤沢市、茅ヶ崎市とともに湘南勤労者福祉サービスセンターと協定を締結し、安定した運営ができるよう財政的支援をし、中小企業従業員の福利厚生の充実を図ることができた。(市民-20)

3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)

整理番号	市民-20	事業名	勤労者福祉支援事業							
指標の内容	湘南勤労者福祉サービスセンターの会員数(鎌倉市内事業所分)					単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由		年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)		
中小企業従業員の福利厚生の充実に資するため。		目標値	2,800	2,800	3,000	3,000	3,000	3,000		
		実績値	2,634	2,758	2,775	3,006	2,958	2,928		
		達成率	94.1%	98.5%	92.5%	100.2%	98.6%	97.6%		